

2026年3月期（第30期） 第2四半期 決算説明会

（2025年7月～2025年9月）

2025年11月7日

日本通信株式会社

ごあいさつ

代表取締役会長

三田 聖二

第2四半期決算の概要

執行役員CFO

小平 充

実績（連結）

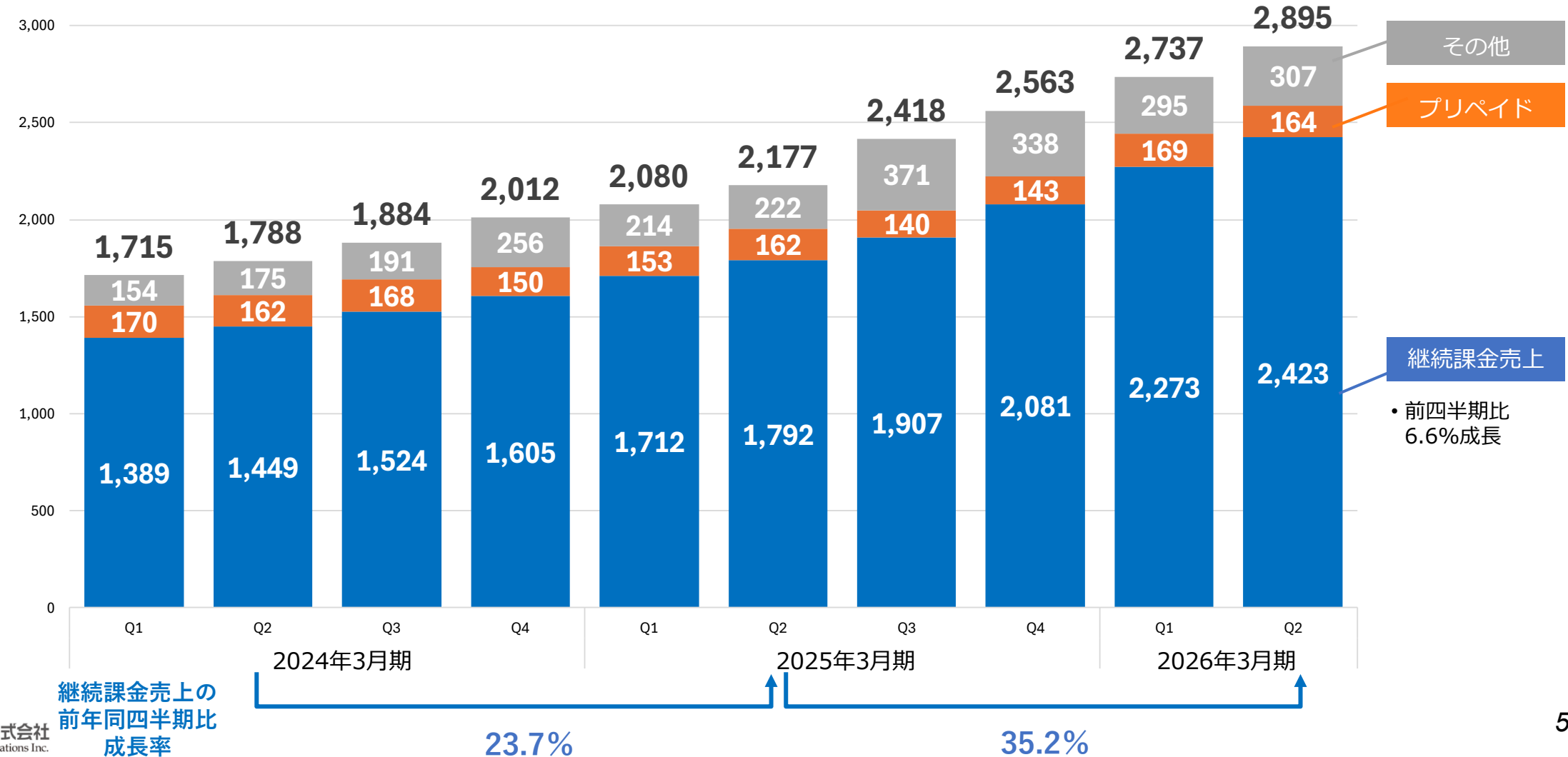
単位：百万円 百万円未満切捨て	Q2 26/3期	前四半期		前年同期	
		Q1 26/3期	増減	Q2 25/3期	増減
売上高	2,894 100.0%	2,737 100.0%	157 5.7%	2,177 100.0%	717 33.0%
売上原価	1,812 62.6%	1,616 59.1%	195 12.1%	1,244 57.2%	567 45.6%
売上総利益	1,082 37.4%	1,121 40.9%	▲38 ▲3.4%	932 42.8%	150 16.2%
販売費及び一般管理費	823 28.4%	797 29.1%	25 3.2%	839 38.6%	▲15 ▲1.9%
営業利益	259 9.0%	323 11.8%	▲63 ▲19.7%	^{※1} 92 4.3%	166 179.4%
経常利益	259 9.0%	317 11.6%	▲58 ▲18.3%	70 3.2%	189 269.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	202 7.0%	241 8.8%	▲38 ▲16.1%	60 2.8%	142 234.3%

※1 認知度向上施策 185百万円

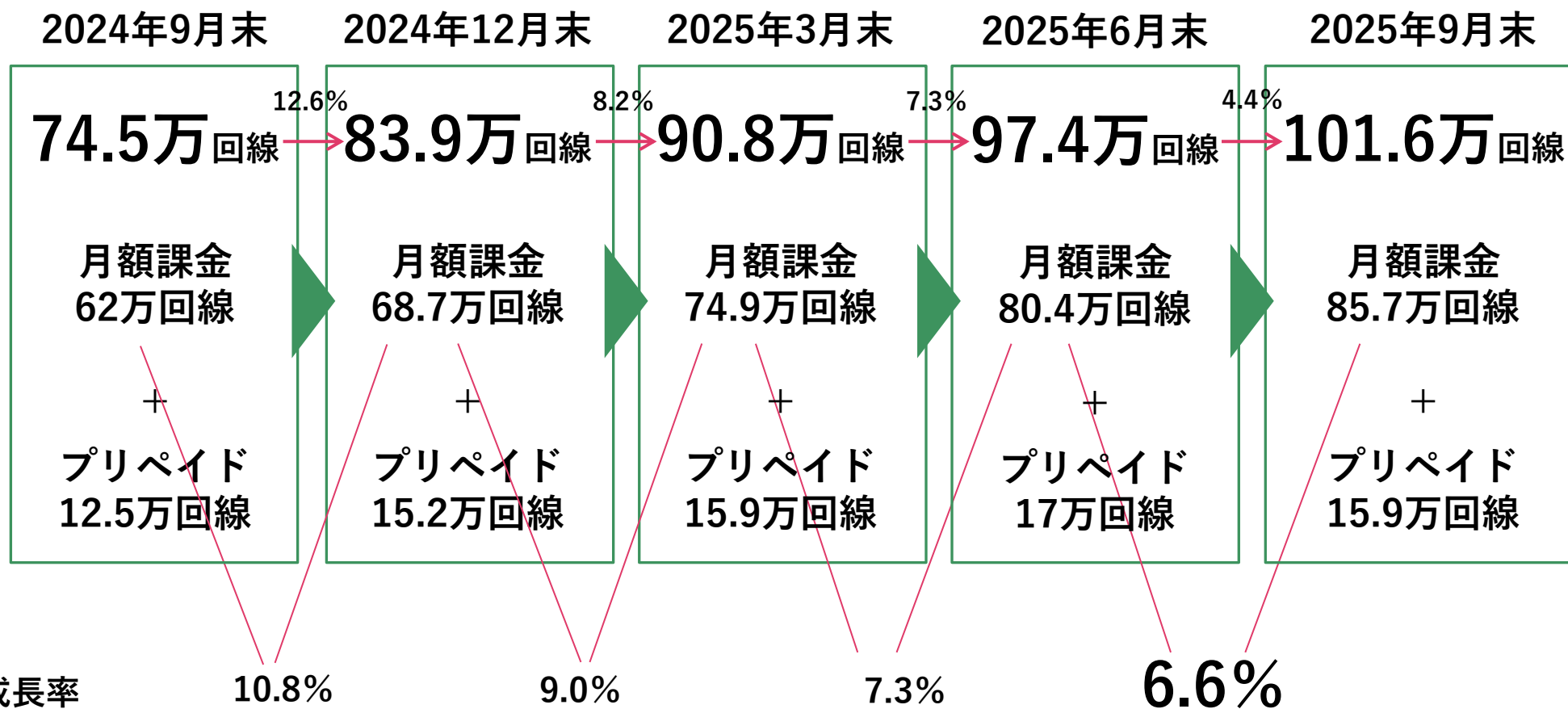
四半期売上推移

継続課金売上の成長率が上がっている

(百万円)



契約回線数



2034年1,000万回線（モバイル市場シェアの4.0%）に向けてオントラック

バランスシート（連結）

単位：百万円 百万円未満切捨て	Q2 26/3期	前四半期		前年同期	
		Q1 26/3期	増減	Q2 25/3期	増減
流動資産	4,611	5,556	▲945	3,190	1,420
現金及び預金	3,222	4,260	▲1,037	2,174	1,047
売掛金	853	794	59	664	189
商品等	66	37	29	61	4
その他流動資産	505	473	31	296	208
貸倒引当金	▲37	▲8	▲29	▲7	▲30
固定資産	3,255	2,224	1,030	1,381	1,873
有形固定資産	558	559	▲0	372	185
無形固定資産	2,027	1,042	984	372	1,654
投資その他	669	622	46	636	32
繰延資産	25	26	▲1	-	25
資産合計	7,892	7,808	84	4,572	3,319
流動負債	1,888	1,909	▲21	1,165	723
買掛金	568	470	98	373	195
前受収益	91	100	▲8	98	▲7
借入金	-	-	-	-	-
1年内償還予定の社債	286	286	-	-	286
その他流動負債	942	1,053	▲110	693	248
固定負債	1,634	1,789	▲154	102	1,532
社債	1,571	1,714	▲143	-	1,571
その他固定負債	63	75	▲11	102	▲38
負債合計	3,523	3,699	▲176	1,267	2,255
純資産	4,369	4,108	260	3,305	1,063
負債純資産合計	7,892	7,808	84	4,572	3,319

キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：百万円 百万円未満切捨て	Q2 26/3期	前四半期		前年同期	
		Q1 26/3期	増減	Q2 25/3期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	207	330	▲123	66	140
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,099	▲365	▲733	▲379	▲719
有形固定資産の取得による支出	▲81	▲147	66	▲21	▲59
無形固定資産の取得による支出	▲999	▲149	▲850	▲60	▲939
その他	▲18	▲69	50	▲298	279
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲146	▲3	▲143	▲4	▲142
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	▲0	2	▲4	5
現金及び現金同等物の増減額	▲1,037	▲39	▲997	▲321	▲715
現金及び現金同等物の期首残高	4,260	4,300	▲39	2,496	1,763
現金及び現金同等物の期末残高	3,222	4,260	▲1,037	2,174	1,047

2026年3月期の方向性に対する進捗

(百万円)

SIM	2026年3月期 方向性	当中間期 実績	進捗率
売上高	11,000	5,580	50.7%
売上原価	6,200	3,035	48.9%
売上総利益	4,800	2,545	53.0%
売上総利益率	43.6%	45.6%	-
販管費	2,100	1,189	56.6%
営業利益	2,700	1,356	50.2%
営業利益率	24.5%	24.3%	-
減価償却	150	44	29.3%
-認知度投資	-240	-10	4.2%
-設備投資	-100	-46	46.0%
-税	-200	-118	59.0%

フリーキャッシュフロー 2,310 1,226 53.1%

FPoS	2026年3月期 方向性	当中間期 実績	進捗率
支出	800	405	50.6%
設備投資		39	
経費		366	

ネオキャリア	2026年3月期 方向性	当中間期 実績	進捗率
支出	5,400	1,975	36.6%
設備投資		1,567	
経費		408	

総支出 6,200 2,265 36.5%

事業戦略の進捗

代表取締役社長兼CEO

福田 尚久

ネオキャリア・プロジェクト

2024年2月13日 当社とドコモとの間で、ドコモの音声通信網及びSMS網との相互接続に関して合意

2024年2月14日 記者会見
ドコモの音声通信網及び SMS 網との相互接続に基づく新サービスを、当社の創立30周年の記念日にあたる2026年5月24日にローンチ予定と公表



- コアネットワークの構築
- 緊急通報網の構築
- 音声通信事業者との接続



音声網を接続する多くの事業者との接続等の交渉及び調整の目途が立ったことを受け、今般、改めて、2026年11月24日を当該新サービスの開始予定日に設定

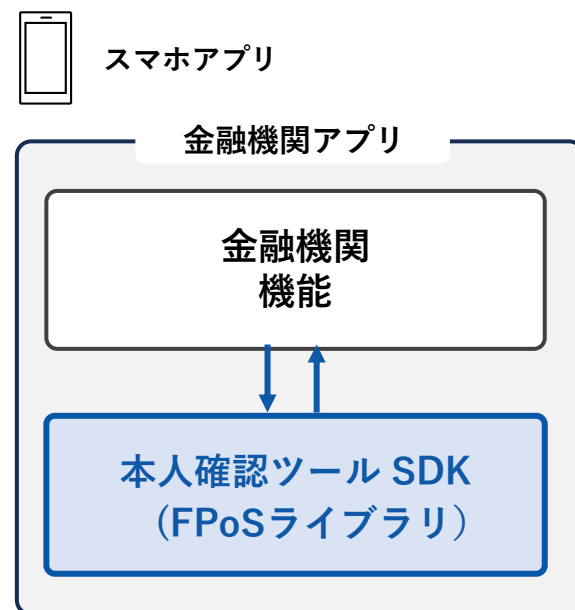
CNS（地銀ネットワークサービス）

2025年10月29日、CNSが地方銀行をはじめとする金融機関に本人確認等のサービスを提供する事業に関し、契約締結に向けた基本的事項について合意書を締結。

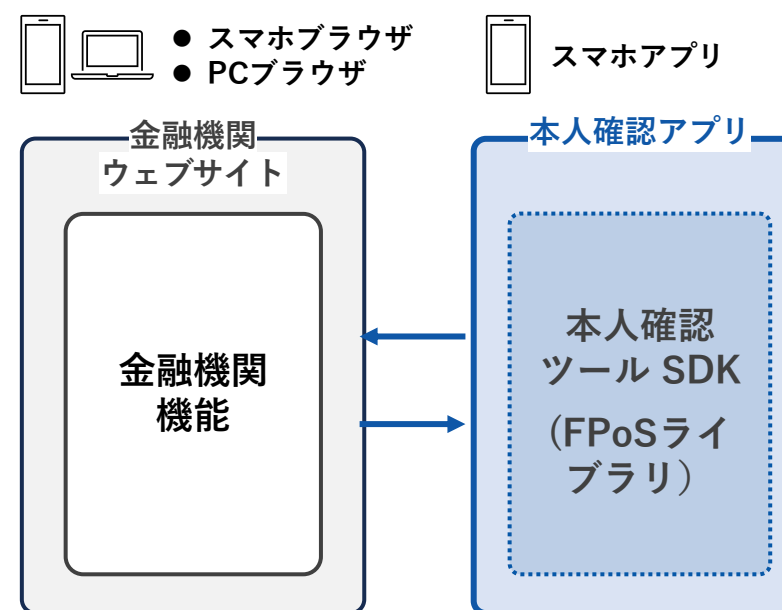
CNSは、2025年10月から金融機関への開発版の提供を開始し、2026年4月以降、順次、金融機関向け本サービスの商用版の提供を開始する予定。

< 2つの提供方法 >

金融機関のアプリに FPoSライブラリを組み込む方法

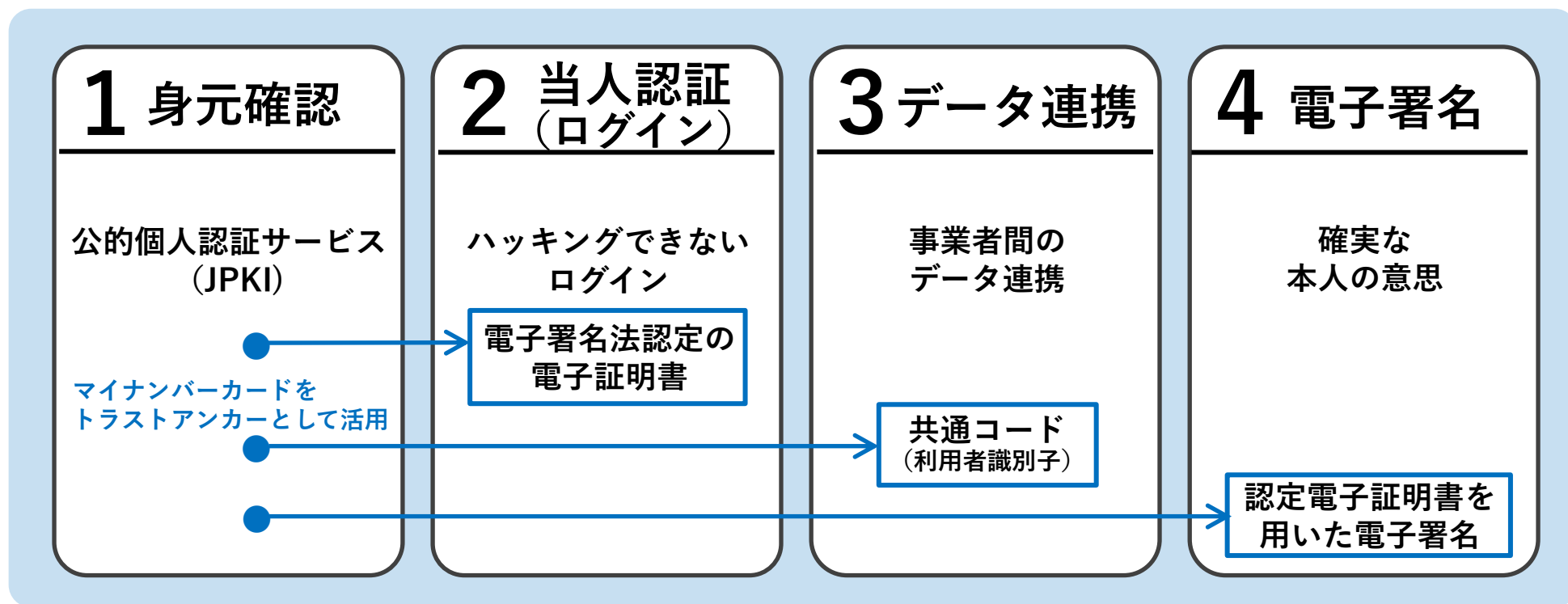


金融機関のウェブサイトと FPoSライブラリを連携させる方法



FPoSライブラリの4大機能

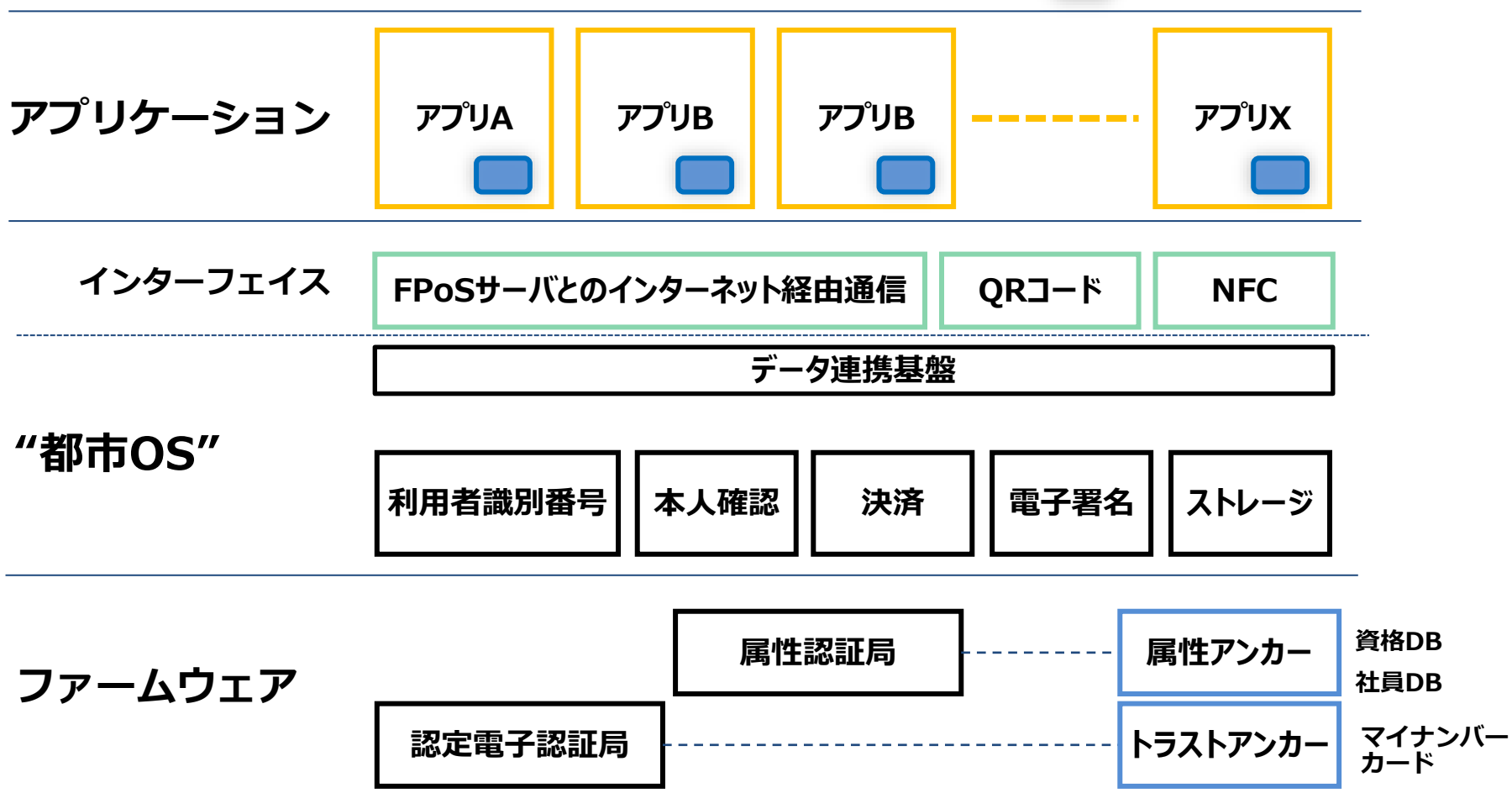
FPoSライブラリはJPKI（公的個人認証サービス）の利用から他の機能の利用へと進展していける。



FPoSの設計構想

FPoSは堅牢かつ柔軟性のあるアーキテクチャーにより、広範な種類のアプリケーションをサポートする。

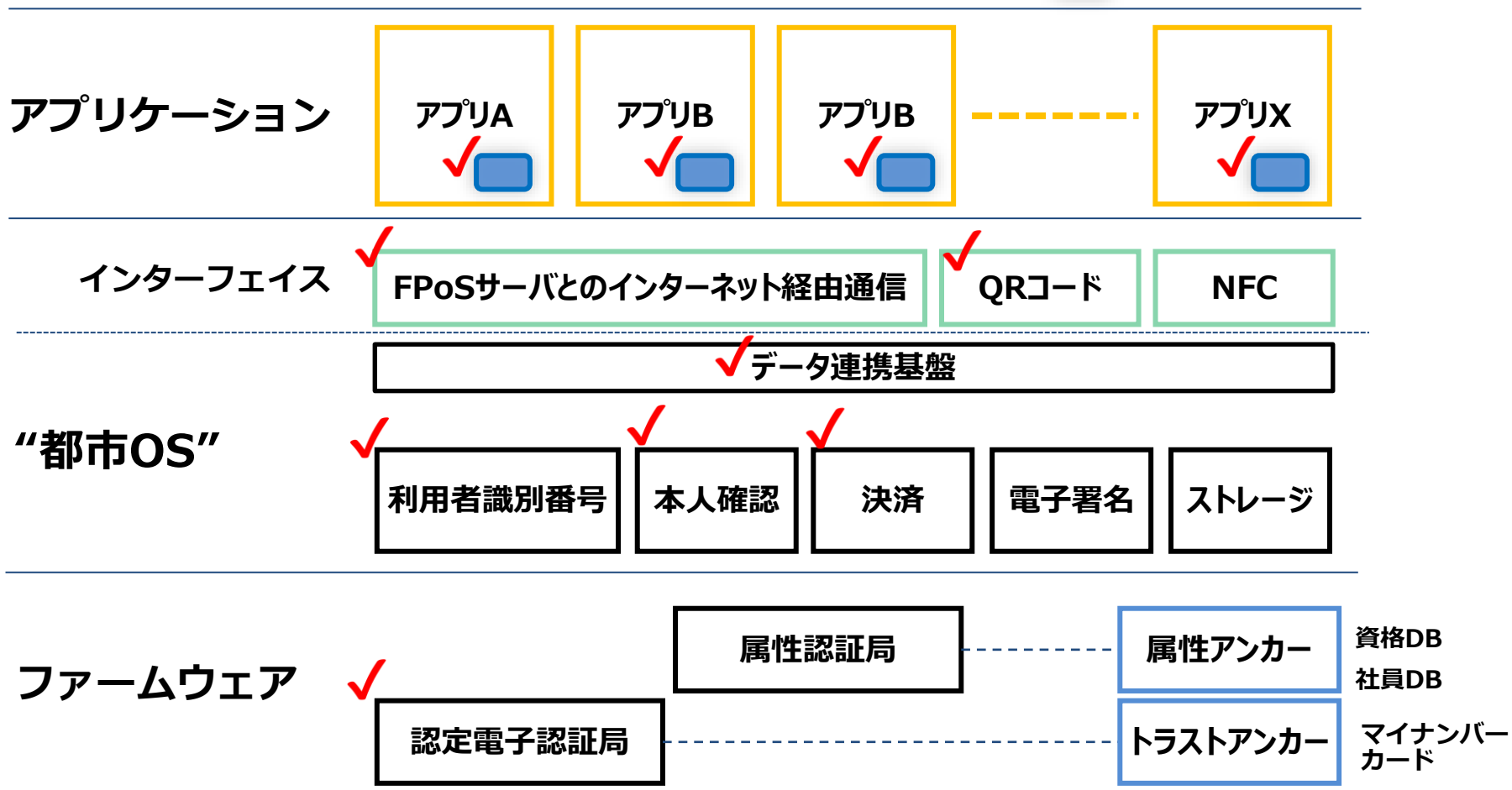
 FPoSライブラリ



FPoSの設計構想

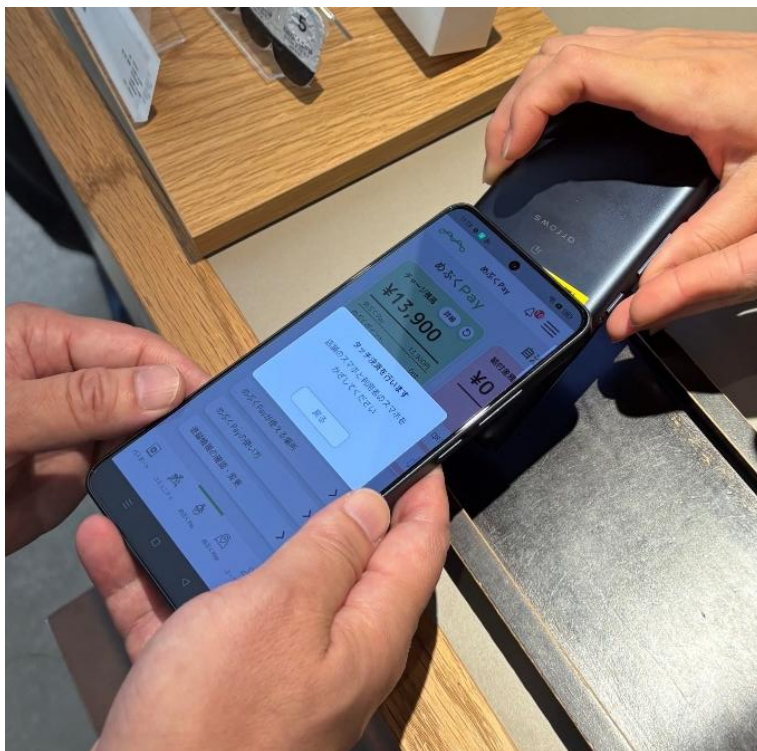
ほとんどのコンポーネントは実装済みで
残りの部分も現在進行中。

✓ 実装済み  FPoSライブラリ



NFCタッチ決済

2025年9月17日、「めぶくPay」のQRコード決済サービスをNFCタッチ決済に置き換える実証実験を実施し、FPoSを活用したNFCタッチ決済で商品を購入。



JINS PARK前橋内の店舗にて

●Androidスマホ同士のNFCタッチで決済

- 少額決済：スマートフォンのタッチ操作のみで完結
- 高額決済：FPoS認証サーバーで署名検証を実施

最大のチャレンジ

“Make it Operational.”

飛躍的に大きな責任に耐えられる
高度な運用を可能へ

開発・技術支援

拠点の冗長化

沖縄オフィス（まちなとノード）の開設

2025年9月15日に新ノードを開設。
コールセンターとして稼働し、沖縄でのプロジェクト推進機能も担う。



コールセンター スペース

戦略を支える4つの国内拠点

- 東京・虎の門オフィス（とらのもんノード）
技術開発、法務、経理などを担う多機能ノード
- 群馬・吉岡町オフィス（よしおかノード）
2021年7月に開設。主に出荷およびコールセンターの拠点として稼働中
- **New:** 沖縄オフィス（まちなとノード）
2025年9月15日に開設。
- **New:** 大阪オフィス（うめきたノード）
2026年3月に開設予定。東京、米国デンバーに続く、技術開発ノードとして稼働予定。

日本通信の事業戦略

- ✓ 2016年1月に新事業戦略として発表
- ✓ FinTechプラットフォームについては、2017年8月に公表

ローカル4/5G

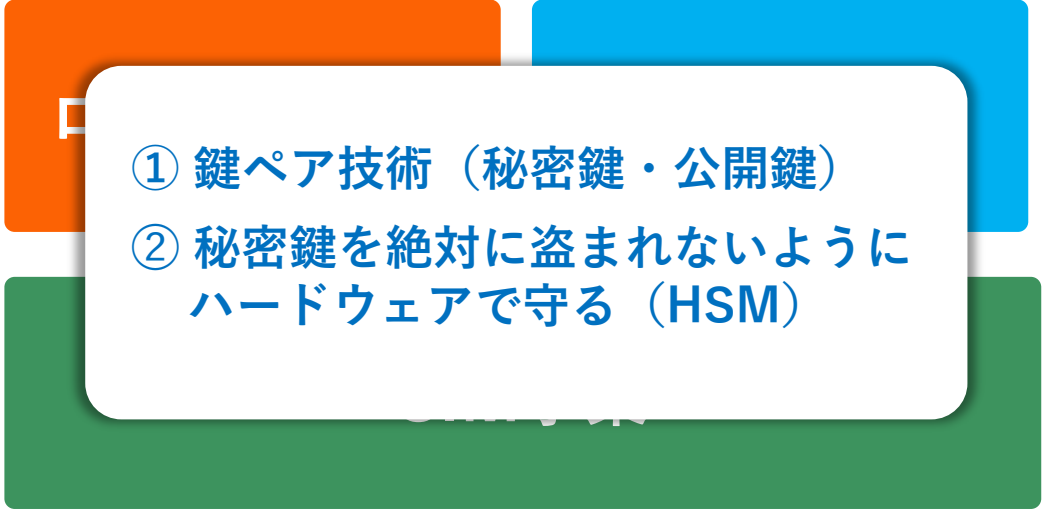
FPoS

SIM事業

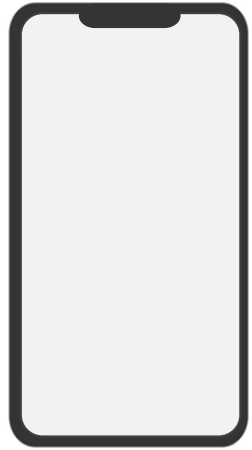
FPoS: Fintech Platform over SIM、エフポス

スマホで安全・安心な金融取引等を実現できる当社の特許技術

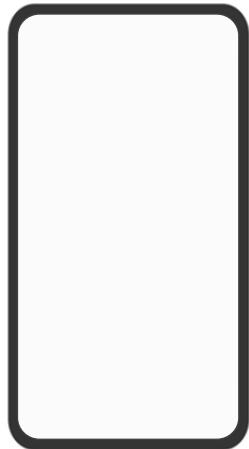
日本通信の事業戦略

- 
- ① 鍵ペア技術（秘密鍵・公開鍵）
 - ② 秘密鍵を絶対に盗まれないようにハードウェアで守る（HSM）

ノード（端末側）の真正性により セキュリティを確保

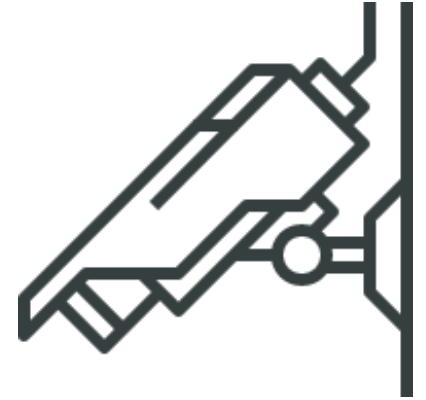


iPhone



Android

- ① 鍵ペア技術（秘密鍵・公開鍵）
- ② 秘密鍵を絶対に盗まれないようにハードウェアで守る（HSM）



IoT etc,.

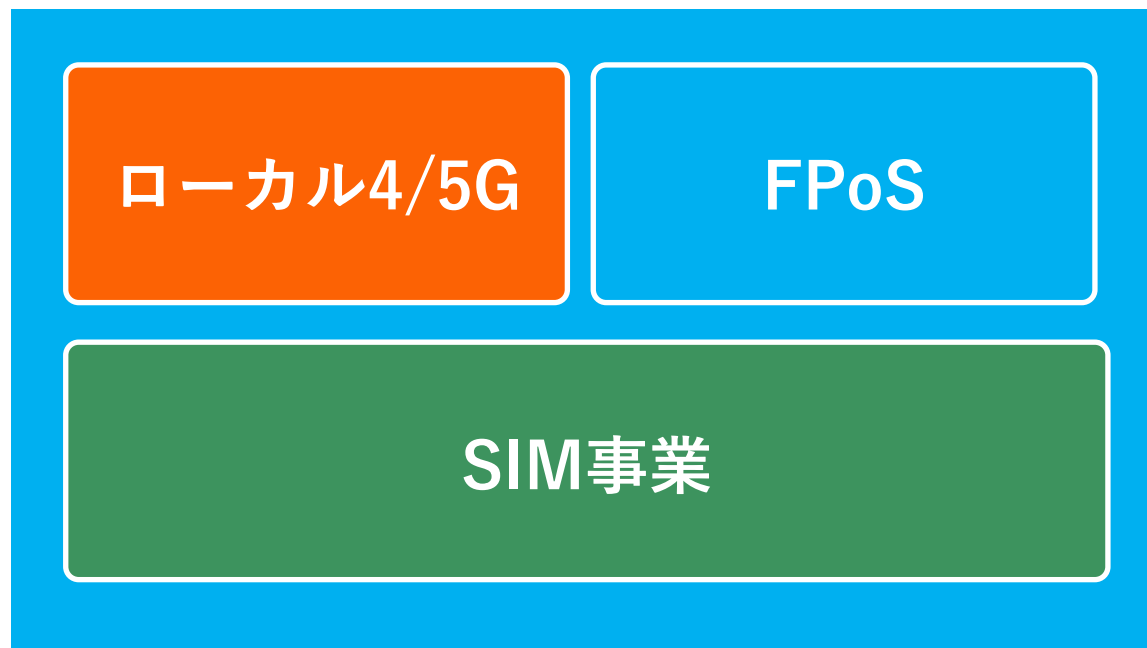


PC



日本通信の事業戦略

安全・安心にデータを運ぶ



Network Agnostic Operator



日本通信のミッション

Carrying Bit in Safety and Security

安全・安心にビットを運ぶ

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

本資料に記載されている会社名、商品名などは該当する各社の商標または登録商標です。